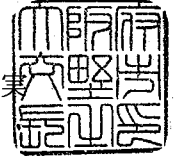




交環衛第 107 号
令和元年 7 月 11 日

大阪府知事 吉村 洋文 様

交野市長 黒田 実



北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る計画段階環境配慮書
に対する環境の保全の見地からの意見について（回答）

令和元年 5 月 31 日付け環保第 1389 号により照会のありました標記の件について、環境
保全の見地からの意見を、別紙のとおり提出します。

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る計画段階環境配慮書に対する意見書

事業者は、本事業が環境に著しい影響を与えるおそれのある大規模な事業であることを念頭において、適切に環境影響評価を実施する必要がある。今後、本事業を進めるにあたり、配慮書に記載されている事項に加え、以下の事項について十分配慮すること。

I 事業の目的および内容について

今後のルート検討における考慮事項において、交野市市街地には交野市水道事業が取水する水道水源用深井戸が **16** 本あり、トンネル掘削等において地下水に影響をおよぼすおそれがあるので詳細な検討を行う旨、方法書に記載すること。

II 事業実施想定区域及びその周囲の概況について

地下水利用の状況において交野市水道事業所管の水道水源用深井戸 **16** 本の記載がないため、方法書に記載すること。

III 計画段階配慮事項ごとに調査、予測及び評価の結果について

(1) 全般的事項

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画段階環境配慮書では、大阪府域内の路線を概ね **4km** 幅で示しているが、立坑・斜坑、換気施設等の付帯施設の位置・規模等や現地調査の地点および範囲が具体的に示されていない。今後、路線やその他の付帯施設の位置、規模が明らかになった段階で、具体的な調査地点を広く情報提供し、寄せられた意見に配慮したうえで適切な調査、予測及び評価を行うこと。

(2) 騒音・振動・微気圧波・低周波

低周波の影響要因が換気設備のみ抽出されているが、列車がトンネルに突入した際に発生する微気圧波・低周波音についても影響要因として評価を検討すること。

また、低周波の評価については **G 特性 (ISO 7196)** によることとしているが、低周波による苦情等対応においては周波数分析による検討が重要となることから、調査においては、**1/3** オクターブバンドでの周波数分析により、事業の実施により発生する低周波音の特徴について明らかにする旨、方法書に記載すること。

(3) 水質・地下水

ア 水質の評価において、山岳部、都市部ともにトンネル等の地下構造物の存在によ

り地下水水質に重大な影響が懸念されるので、周辺の地下水水質調査を確実にし、そのうえで施工方法等について専門家の助言等を受け詳細な予測、評価をすること。また、重大な水質の悪化により水道事業用水源として地下水利用が困難になった場合必要に応じて代償措置を講じる必要がある。

イ 山岳部、都市部ともにトンネル等の掘削工事、完成時の地下構造物につき、交野市域における水道事業用水源として使用している深井戸 **16** 本について、減水及び枯渇が懸念される為、深井戸水源の位置及び使用状況等を十分に把握すると共に、必要に応じて地質、水文学的シミュレーションなどの手法により定量的な予測を行い、それらへの影響を回避するよう検討し、必要に応じて代償措置を講じる必要がある。また、地下水への影響については、予測の不確実性が高いと想定されることから、専門家の助言を受け代表的な地点を複数選定し、環境保全措置の効果を事後調査により確認する必要がある。

ウ 地下水の利用の状況について交野市水道事業所管の深井戸 **16** 本の記載がないため、方法書に記載すること。